

共同研究  
「学園ミュージアムを考える」  
中間報告

上田 富士子・中村 博幸

京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト「学園ミュージアムを考える」は2003年7月に発足した。研究期間は2003年7月より2006年3月の予定であり、今年度で2年目を迎えた。上田富士子（文化人類学科教授）、中村博幸（臨床心理学科教授）を研究代表者とする、10名よりなる共同研究プロジェクトである。本研究会は、従来の大学博物館の考え方を一歩進め、京都文教学園100年の歴史の記憶と文化資産が集積する場として本学園そのものをひとつのミュージアムとして捉える新しい学園ミュージアムの可能性について研究することを目的とする。ここに2004年度活動状況、2005年度活動予定について報告する。

#### 2004年度活動状況

##### 1. 研究会、シンポジウム等の開催

研究会「地域まるごとミュージアムの試み」

報告者：橋本和也（本学文化人類学科教授）

日時：2004年4月22日（木）18:00～20:00

研究会「非営利組織としての博物館」

報告者：島本晴一郎（本学現代社会学科教授）

日時：2004年5月27日（木）18:00～20:00

研究会「大学博物館の多様性と様々なあり方」

報告者：中村博幸（本学臨床心理学科教授）

日時：2004年6月24日（木）18:00～20:00

#### シンポジウム

「地域とむすぶミュージアム活動の試み」

内容：

- ①講演「地域・大学・資料館－『まるごと』の2年をふりかえりながら－」

講演者：坂本博司（宇治市歴史資料館学芸員）

- ②報告「宇治橋通りまるごと文化フェスタ参加報告」

報告者：本学文化人類学科「うじぞー組」「あかり工房」

- ③ディスカッション

日時：2004年11月26日（金） 18:30-20:30

場所：宇治公民館（市民会館）

共同主催：

京都文教大学博物館学講座

「『(人と人をむすぶ)地域まるごとミュージアム』構築のための研究」

研究会「キッズプラザ大阪の運営と管理」

講演者：山田隆造（キッズプラザ大阪理事兼副館長）

日時：2005年2月2日（水）18:00～20:00

研究会「燈墨会－墨と灯りの共演－」（展示鑑賞会）

講演：「資料館の20年－1984～2004－」

講演者：坂本博司（宇治市歴史資料館学芸員）

日時：2005年3月3日（木）18:00-20:30

場所：京都文教大学 樹心亭

## 2. 参考書籍の収集

- (1) 大学ミュージアム等に関するアメリカの学位論文12点
- (2) 「東和町誌」シリーズ9点（大学・地域・博物館の連携に関する参考図書として）

## 2005年度活動予定

- (1) 「（人と人をつなぐ）地域まるごとミュージアム」プロジェクト（研究代表者：橋本和也、科研助成）や「ミュージアム・ディレクター型学芸員養成のための博物館学講座カリキュラム研究」プロジェクト（研究代表者：中村博幸、全国大学博物館学講座協議会西日本部会助成）と共同研究を行い、研究会等を従来通り実施していく。
- (2) 鹿児島国際大学、南山大学、大谷大学等、特色ある大学ミュージアムの事例を中心に学園ミュージアムについて考えを深めるべく公開シンポジウムを開催する。
- (3) 3年間の研究成果の報告、および本学園における学園ミュージアムの提案に関する冊子を作成する。